

令和2年

学 生 質 問 書

キララちゃん議会

順位 1 番 きょうたな娘 A (同志社女子大学 学芸学部メディア創造学科)

1 広報活動について

- (1) 京田辺市観光パンフレットは、年齢層が絞られている気がする。
- (2) 市は SNS をあまり活発に更新しているイメージは無いが、SNS で情報を流した方が若者は見るのでは。
- (3) YouTube がほとんど更新していないが、今後の運用はどのように考えているのか。

順位 2 番 きょうたな娘 B (同志社女子大学 学芸学部メディア創造学科)

1 市の地域活性化への取り組みについて

- (1) 京田辺市の農産物を同志社大学や同志社女子大学の学食のメニューとコラボし地産地消を促せばいいのでは。
- (2) 京田辺市観光大使であるキララちゃんをもっと市のキャラクターとして活躍してほしいと思うが、市としてはどのようにキララちゃんを活躍させる計画があるのか。(千葉県マスコットキャラクターのチーバくんみたいに全国区に知られるように)

順位 3 番 きょうたな娘 C (同志社女子大学 学芸学部メディア創造学科)

1 公共機関について

- (1) 京都府道 22 号八幡木津線のマクドナルド山城田辺店付近の道が狭く通学などで通る際危険に感じる。
- (2) 同志社大学、同志社女子大学付近に、飲食店やカフェの新設など、発展させる計画はあるのか。
- (3) 田辺公園テニスコートのトイレが古いのできれいにしてほしい。
- (4) 防賀川テニスコートに更衣室がほしい。

順位 4 番 京 oshi A (同志社女子大学 学芸学部メディア創造学科)

1 ウィズコロナ社会に向けてのオンライン化 (高齢者)

- (1) 「オンライン化×高齢化」の議題が少ないが、具体的に何か取り組みを行っているのか。
- (2) これからはオンライン化が加速すると思うが、高齢者のデジタルデバイトの対応について (高齢者人口は市の人口の 4 分の 1 を占めている)

順位 5 番 京 oshi B

(同志社女子大学 学芸学部メディア創造学科)

1 ウィズコロナ社会に向けてのオンライン化（災害時）

- (1) 災害時の感染症対策に向けてのオンライン化
例) 非接触の消毒スプレー・避難先へのデジタルマップ化・災害用のアプリ開発など
- (2) 災害時の避難先（人数制限アリ）の確保はもちろんだが、そこでの日用品配布の方法
例) アプリなどで必要なものを個別に依頼など

順位 6 番 京 oshi C

(同志社女子大学 学芸学部メディア創造学科)

1 コロナと市の税収について

- (1) 税徴収の減額が見込まれるとのことだが、ふるさと納税などで増収を見込めないか。（市の特産・技術を使った感染対策商品など）
- (2) クラウドファンディングなどの推進

順位 7 番 京 oshi D

(同志社女子大学 学芸学部メディア創造学科)

1 公共交通機関の整備について

- (1) 京田辺市は交通の要所である。災害時に京田辺市が交通機能を維持しておくことは重要なことだと考える。影響を受けづらい交通機関の整備について
- (2) これからの新しい交通機関について

順位 8 番 京 oshi E

(同志社女子大学 学芸学部メディア創造学科)

1 コロナと学校給食

学校給食の共同調理法ではなく、個別に弁当の配布などではダメなのか。(京田辺の弁当屋などの販売店との協力)

順位 9 番 京 oshi F

(同志社女子大学 学芸学部メディア創造学科)

1 市の広報活動について

- (1) 電子広告化などの検討について(駅前などの掲示板を見る人は少ない)
- (2) 特産品の市外への持ち込み(他県の全国版朝市などに出店でPR)
- (3) 特産品オンライン販売完備について

順位 10 番 GA A

(同志社女子大学 学芸学部メディア創造学科)

1 市民の要望反映について

市民の要望は年間で何件実現されているのか、取り組まれているのか。

2 京田辺市 Go To 商店街について

令和2年10月19日以降より政府からGo To 商店街の実施が発表されたが、京田辺市の実施予定はあるのか。

順位 1 1 番 GA B

(同志社女子大学 学芸学部メディア創造学科)

1 就学援助制度について

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、高校生及び大学生のアルバイトの収入が激減している。

未だ新型コロナウイルスの感染拡大の収束が見えない中、これからも学生が学び続けることが出来るために、市はどのような対応をとるのか。

順位 1 2 番 GA C

(同志社女子大学 学芸学部メディア創造学科)

1 3密対策に係る実証実験について

京田辺市役所 2 階市民ロビーにおいての検証実験が行われているが、実験の有無で変化した点はあるのか。

順位 1 3 番 GA D

(同志社女子大学 学芸学部メディア創造学科)

1 市の整備・政策について

子どもが過ごしやすい環境にするために行なっている政策や整備の中で、一番力を入れているものは何か。

2 新型コロナウイルス感染症の対応・対策について

新型コロナウイルスが拡大し始めてから、幼稚園や小学校から市に対して何か要望が出されたことはあったか。また、どのようなものだったか。

1 農家の後継者不足の対策

京田辺市産業振興ビジョンの農業分野を拝見したが、京田辺市の課題として後継者不足や京田辺市の農作物をどこに行けば買えるのかわからないといったことがある。

その対策として、京田辺市は親子で農業体験を実施したり、食育に力を入れていることがわかった。しかし、コロナウイルスの影響で対面でのイベントが難しくなった。そのため、これからどのようにして農業に関心を持ってもらうような取り組みをしていくのか。

2 学生からの要望

- (1) 指定ゴミ袋を作って欲しいという声について
- (2) 同志社大学、同志社女子大学付近、また一人暮らしの学生が住むあたりの街灯が少ないことに対して

1 市民みらいミーティングについて

市民みらいミーティングを行った後、このミーティングで出たアイデア等を活用して市の取組みが行われているのか。

順位 16番 #STAY たなべ A

(同志社女子大学 学芸学部メディア創造学科)

1 各駅・周辺の整備について

- (1) 近鉄興戸駅には、同志社大学・同志社女子大学学生の専用通学路があるが、利用者数が少ない。警備員が通学時に専用通学路を利用するよう、呼びかけを行っているが効果的ではないと考える。専用通学路を利用するよう対策が必要である。
- (2) 興戸駅の通学路は街灯が少ない。もっと設置すべき。

2 WITH コロナ社会について

- (1) リモートワークやリモート学習が推奨されているが、市内の各住宅の情報通信環境の現状を問う。
- (2) 情報通信環境を平等にするよう、補助金等で環境を整備するべきである。

3 学習について

オンライン授業の推奨によって、個人で授業を受けることが多くなった。周りの環境を伺えないことや、自身の学習スピードに不安がある。就学援助制度があるが、経済的な援助だけではなく、心身的サポートの援助を導入すべき。

【総括質疑】

関口 英里 教授

(同志社女子大学 学芸学部メディア創造学科)

1 女性の社会参画、特に大学生など若い世代の活躍について

- (1) 大学生などより若い世代に重点を置いた施策の方向性について
- (2) 京田辺市で学ぶ学生の要望対応や支援策、女子学生ならではの能力を伸長し活用できる仕組みづくりを

2 同志社女子大学との官学連携の推進について

市が行う情報発信において、インターネットやSNSなどの新しいメディアで本科学生の持つ技術やプロデュース力を生かした連携や強化の方向性があるのか。